

協働

森林里山活動団体との交流

日時：平成20年11月15日（土） 10:00～15:00

講師：森林里山活動団体（人と自然の共生国際フォーラム参加）

概況



■第2回人と自然の共生国際フォーラム

人と自然の共生国際フォーラムは、愛知万博の理念や成果を継承し、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに向けた大きな潮流を創り出すため、2007年から10年に渡って開催します。第2回となる今回のフォーラムは、「自然の叡智を再考する～森林から考える人と自然の共生」をテーマに、世界の森林の現状に目を向けるとともに、「森林」が地球環境や私たちの暮らしにどのように関わっているかを参加者と一緒を考えることをねらいとし開催されました。

今回は、2日間に渡って行なわれたフォーラムの第1日目に参加しました。

●開会式

フォーラム実行委員会の委員長である稲垣副知事、あいち海上の森センター名誉センター長のマリ クリスティーヌ氏のあいさつの後、愛知県議会 栗田宏議長、中部森林管理局名古屋事務所 小林五十六所長の祝辞がありました。

●基調講演「身近な森の魅力と魔力」講師：ケビン・ショート氏

ケビン氏の名前の由来や生い立ち、また世界各地での森林の状況や森林との関わりの体験を紹介しながら、日本の森林や里山のすばらしさ、保全の必要性について話がありました。

- ポスターセッション

県内外の自然環境に関する活動を行なっている28団体・施設が、県大食堂内に設置された各ブースにおいて、パネル展示や普段行なっている活動内容等について説明を行ない、参加者との活発な意見交換が行なわれました

- パネルディスカッション「森から考える人と自然の共生」

コーディネーター：川井秀一氏

パネリスト：天野正博氏、川勝平太氏、蔵治光一郎氏、小澤紀美子氏

川井氏をコーディネーターに、各方面で活躍されている方々をパネリストに迎え、地球環境・温暖化抑制、地球環境に果たす森林の役割などについて議論が深められました。

- 閉会式・フォーラム宣言

基調講演やパネルディスカッションでの議論の結果を受け、講師の方々によりまとめられた「フォーラム宣言(案)」が、パネルディスカッションのコーディネーターである川井氏から提案され、参加者の大きな拍手により採択されました。

最後に愛知県農林水産部の伊藤義英技監の閉会のことばにより、フォーラムが終了しました。